

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】特開 2001-47757 (P2001-47757A)
 【公開日】平成 13 年 2 月 20 日 (2001.2.20)
 【出願番号】特願 2000-192626 (P2000-192626)
 【国際特許分類】

B 4 1 N 1/14 (2006.01)
B 4 1 C 1/055 (2006.01)
B 4 1 N 3/03 (2006.01)
G 0 3 F 7/00 (2006.01)
G 0 3 F 7/004 (2006.01)
G 0 3 F 7/11 (2006.01)

【F I】

B 4 1 N 1/14
 B 4 1 C 1/055 5 0 1
 B 4 1 N 3/03
 G 0 3 F 7/00 5 0 3
 G 0 3 F 7/004 5 0 5
 G 0 3 F 7/11 5 0 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 6 月 15 日 (2007.6.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

平版ベースの親水性表面上に、記載の順序で、I R - 感光性親油性層および架橋結合した親水性層を含んでなる平版を製造するための感熱性材料であって、該 I R - 感光性親油性層が $0.1 \sim 0.75 \text{ g} / \text{m}^2$ の間の乾燥重量の量であることを特徴とする材料。

【請求項 2】

該 I R - 感光性親油性層が $0.15 \sim 0.5 \text{ g} / \text{m}^2$ の間の乾燥重量の量である請求項 1 に記載の感熱性材料。

【請求項 3】

該親油性層が結合剤および光を熱に転換しうる化合物を含んでなる請求項 1 または 2 に記載の感熱性材料。

【請求項 4】

親水性層が $0.3 \sim 5 \mu\text{m}$ の間の乾燥厚さを有する請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の感熱性材料。

【請求項 5】

(i) 請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の感熱性材料を $0.1 \text{ mW} / \mu\text{m}^2$ より大きい強度を有するレーザー光線に像通りに露光し、(ii) 段階 (i) の前または後に版を印刷機械上に設置し、(iii) 版を湿し水およびインキと接触させる段階を含んでなる平版印刷版の製造方法。